



◆生育状況については果樹総合情報を参照

◆当面する重点作業

1. 休眠期防除(耕種的管理・薬剤散布)を徹底する。農薬の飛散に注意する。
2. 側枝、種枝の誘引、結束作業の見直し点検を実施する。
3. 防霜資材を準備する。また防霜ファン施設の試運転を行う。
4. カスミカメムシはヨモギで増えるので、毎年被害の多い園では草刈を行う。

◆第1回薬剤散布について

1. 散布時期 … 3月29日(水) ~4月2日(日)頃 散布日 月 日

2. 調 合 量 … 水99ℓ 当り

展 着 剤 …… 10ml
ガットキラール剤 …… 1ℓ (トラカミキリ・ブドウスカシバ)
Ⓜデランフロアブル …… 500ml (黒とう病)

3. 散 布 量 … 10a当りSS・動噴=200ℓ 以上

4. 留意事項

- ①温暖無風の日(時)を選び、たっぷり丁寧に散布する。
- ②あんず等でミツバチを導入する地区では、ミツバチの導入(開花)前までに散布を終わらせる。
- ③黒とう病菌でQo i 剤耐性菌が確認されました。

黒とう病に対し第1回目のデランフロアブルの効果は高いので防除を徹底する。

特に「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」は黒とう病に弱いので注意する。

植えたばかりの苗木でも感染するので散布をしっかりと行う。

幼木で感染すると主幹・主枝の形成に大きく影響してしまうので注意する。

発生が多い園は越冬源の巻きひげや病斑をもう一度見回って除去する。

◆第2回薬剤散布について(巨峰系・欧州系)

出来るだけ発芽に近づけて散布し、防除効果を高めるが、展葉してからは葉ぶちが痛むので注意する。

1. 散布時期 … 4月中(発芽前) 4月8日(土)~4月16日(日)頃 散布日 月 日

2. 調 合 量 … 水95ℓ 当り

展 着 剤 …… 10ml
石 灰 硫 黄 合 剤 …… 5ℓ (ハモグリダニ・サビダニ・カイガラムシ)

3. 散 布 量 … 10a当りSS・動噴=200ℓ 以上

4. 留意事項

- ①第1回目の散布との間隔は、5日以上空ける。
- ②ハモグリダニの発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤を10倍(水90ℓに10ℓ)で使用する。
- ③ミカンキイロアザミウマ防除のため、園内にあるたんぽぽ等は開花前に除草する。
- ④黒とう病の発生が多い場合または第1回目でデランフロアブルを使用しない場合は、ベンレート水和剤200倍(水95ℓに500g)を黒とう病対策として加用散布する。
なおベンレート水和剤は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かし直前に加用する。

巨峰の生育状況（長野県果樹試験場）

	発芽	展葉	備考
平年	4/27	5/3	2005～2020年の平均
令和4年	4/25	5/2	
令和3年	4/24	5/2	

管内の発芽状況

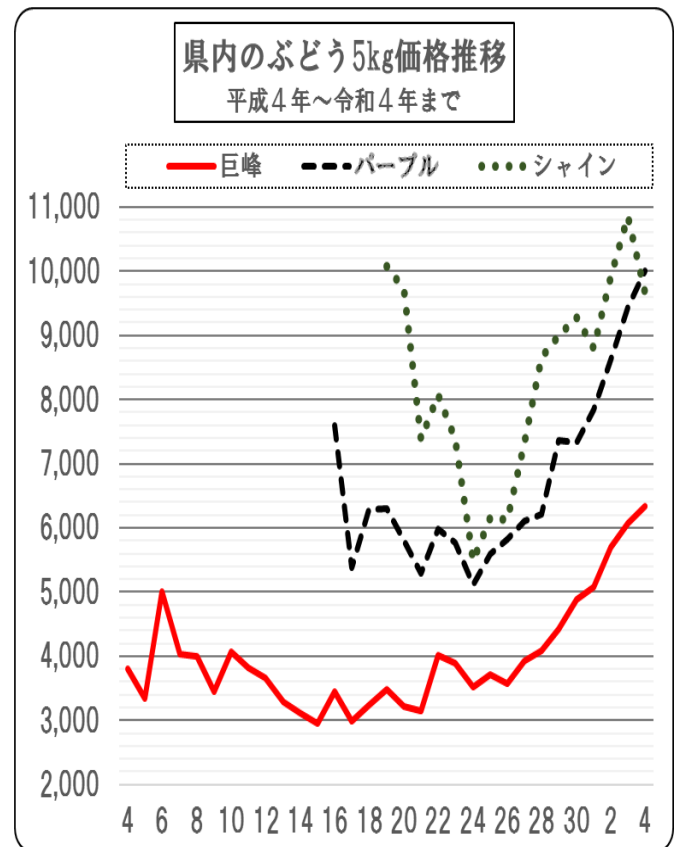
	ナガノ パープル	シャイン マスカット	備考
令和4年	4/19～24	4/21～24	
令和3年	4/19～20	4/17～19	
令和2年	4/22～25	4/28～5/1	

◆かん水について・・・10a当り20～30ℓ程度

発芽期に水分が不足すると不発芽・発芽遅れなど発芽不揃いを起こし、その後の管理に支障をきたすことになる。乾燥が続く場合は、定期的にかん水を行う。

◆県内のぶどう価格の推移

平成4年から令和4年までの県内産のぶどう価格（5kg換算）の推移のグラフです。近年において価格上昇が著しいことがわかります。巨峰は種なし・種ありの合計です。



◆カスミカメムシの防除対策について

展葉していく葉に、細かい穴のあく（破れ障子型）被害が毎年みられるが、これはカスミカメムシの被害である。発生源であるヨモギ等の草刈をすることが防除になる。

◆ぶどう用のかさネットについて

ぶどうの鳥獣害の防止用に利用できます

別紙の注文書を参考にしてください。数年間繰り返して使用できます（3年間位が目安）

ネットと一緒に付いているカサはやや小さいです。日焼け防止のためには新聞紙などを併用。

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井）：080-8048-6602／佐藤（川中島）：090-7179-9866

丸山（更北・松代）：080-1202-0260／福田（若穂）：282-2002／根津（信更）：080-1203-8576

松坂（全域・編集担当）：080-1188-4131／営農部（本所）：292-0930

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／生産販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済課・農業資材課：299-3311